

2024 年 3 月 13 日

## 2024 年 2 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

### <印刷用紙 A>

平判は仕事量の減少もあり、小ロット物件が中心で前年を大幅に下回った。

巻取についても学参、生損保、チラシに大口案件が見られず前年を大幅に下回った。

平判、巻取とも前年同月の価格修正前の仮需の影響もあった。

（前年比 平判 88.0% 巻取 88.7%）

再生紙平判は入札案件の受注増加により前年を上回った。

再生紙巻取も定期案件に加え、入札案件の増加により前年を上回った。

（前年比 再生上質平判 119.1% 再生上質巻取 118.5% 再生上質計 118.8%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 88.1%）

### <A2 コート>

平判は旅行関連が比較的堅調な動きだった。雑誌に関しては部数減、廃刊休刊等減少傾向が続いており、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取はスーパー、量販店、デリバリー関連の流通サービス業の定期チラシやスポットの動きがあり、前年並みの動きとなっているが、金融、教育関連は低調な状況となっている。

出版においても継続的にページ数及び部数の減少が続いており、グロス、マット共に前年を下回った。

（前年比 平判 88.9% 巻取 88.3% 全体 88.7%）

### <A3 コート>

スーパー、量販店、デリバリーの定期チラシ案件、株主招集通知、イベントのスポット案件で動きがみられたが、カタログ等の商印の落ち込みもあり、平判、巻取共に前年を下回った。

（前年比 平判 97.2% 巻取 91.4% 全体 93.1%）

### <ノーカーボン紙>

平判は手書き用帳票の動きが減少傾向ではあるものの大幅な落ち込みにはなっていない。巻取は生損保帳票の大口案件が Web 化でなくなっているものもあり、大幅に前年を下回った。

（前年比 平判 95.3% 巻取 78.1%）

### <上質フォーム>

自治体の納付書案件の動きは見られるが、民間の案件が低調。大口スポットの動きもなく、低調に推移した。

（前年比 77.3%）

#### <包装用紙>

特殊両更は封筒の動きが全く振るわず悪かった前年を更に下回った。

(前年比 87.5%)

軽包装は印刷会社、製本会社向けの雑包装用途に動きが見られ、前年を上回った。

(前年比 117.4%)

片艶晒は封筒用途、包装用途ともに動きが悪い状況が続いており、低調であった前年をも下回る結果となった。

(前年比 94.0%)

両更晒は生損保向け、役所向けの封筒で一部動きがあったものの、他銘柄への移行も進み、前年を大きく下回った。

(前年比 85.1%)

色クラフトは保険関係の封筒で一部動きがあったものの前年を下回った。

(前年比 91.7%)

純白ロールは土産、彼岸向けの和菓子の包装紙に動きは見られたが、好調であった前年を下回った。

(前年比 91.3%)

包装紙全体では 97.9%と前年を下回った。

#### <板紙>

コートボールは 4 月からの食品の値上げが予定されておりパッケージのデザイン、データの変更があり好調であった。

特板は春物の化粧品、医薬品に動きが見られインバウンド需要を含め好調であった。

高板はトレーディングカードが依然好調であり、商印関係は前年並みの動きであった。

チップボールは音楽関係が低調であったが、裏白チップで貼箱、箱ボールとして動きがあり、また一部のメーカーで 2 月、3 月と休転が続く為、仮需があり前年を上回った。

(前年比 104.5%)